

KTK ひゅうまん 京都

No. 528 2020年11月号

編集/京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者/池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P.1 左大文字 つどめ
- P.2 常任委員会から 池添 素
- P.3 「ふつうのくらし」を求めて 大西里江
- P.4 車いす視点から社会を斬る 93 矢吹文敏
- P.5 学術会議問題に寄せて
- P.6 力を尽くしたジョナさんの本人専門! 大江智子
- P.7 2+2=詩 赤富士文兼
- P.8 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P.9 背中を伸ばしてひとと一緒に歩む 69 すぎな
- P.10 365歩のマーチ 安藤 史郎
- P.11 知っ得情報 松本 美津男
- P.12 ありがとうございます・資料

左大文字

「誕生日」

コロナのせいで季節を味わう余裕もないような日が続いている▲ほとんど屋内で過ごしているので夏の暑さからも徐々に進む深秋の寒さからも逃れられる。嬉しいとか悲しいとかの感情の起伏も乏しくなる▲そしてスガになっても変わらない。スマホやらハンコやらパンケーキやら、やたらと細かい施策が国家問題とばかりに躍る。学術会議や核兵器禁止条約批准など大問題を棚にあげて、これ何なんだ!?日に日に鬱積する憤懣もあって刺刺しく荒んでくる▲でも、急転直下。いやまだ解決には至っていないので急転直上?か。11月になって突然に心が弾む日が多くなった▲1日、大阪都構想住民投票。選挙で恫喝して某政党を籠絡し、きつと準備万端臨んだに違いない。蓋を開ければ前回同様、ギリギリ僅差の逆転幕引き。大阪市に然程の思い入れはなかったが、それでも「三都」の語彙はまだ魅力▲大阪の興奮冷めやらずにいる3日。今度は海の向こうの大統領選。ここでも大阪と同じような構図。大阪維新幹部と瓜二つの言動の現職大統領。大阪以上に僅差の大逆転。始まった国会では任命拒否で立ち往生する首相が連日テレビ中継に晒される。負け惜しみと言いつつ汲汲する「見苦しさ」ばかり▲11日は介護の日、22日はいい夫婦の日、と嬉しい日は続く。ありがたい11月、だ。1日は私の誕生日でもあった。近年では一番嬉しい誕生日。

つどめ



「てんとう虫」
渡辺あふる

常任委員会から

〈ハリスさんカッコいい!〉

アメリカ大統領選挙の結果が出ました。前大統領はいまだに敗北宣言をしていないようですが。ヒヤヒヤドキドキしながらなかなか結果の出ない大統領選挙でした。投票から数日たって、バイデン勝利の報に接しちよつとほっとしました。

トランプのもたらした政治はアメリカ市民の中に分断を持ち込み、争いと排除の社会を作り出してしまいました。同じ空気を吸い、同じ空間を共有し、同じ人間として生きているのに、

一緒に喜びを分かち合えない社会は悲しみを大きくします。アメリカ人という共通のアイデンティティを通して、排除ではなく共に歩む社会の構築に向けての一步が刻まれた意味は大きい

と思います。とりわけ副大統領

に指名された黒人女性で南アジア系のカマラ・デヴィ・ハリスさんの存在感が素晴らしい。「私は最初の黒人女性の副大統領だが、最後ではない」とのスピーチは全ての女性の可能性を示唆したもの。さて、日本政府はこの政権とどのように付き合えるのか、日本の民主主義が問われます。スカスカ内閣には難しいのではないかと思うのは私だけです。どうでしょうか。

〈コロナ感染拡大再び〉

東京、大阪、北海道の感染拡大が止まらない。夏を超えてこのまま収束してほしいとの願いを裏切り、秋から冬にさらに感染が拡大するという予言的中した模様。一方、経済活動を保

障する単に、GOTOとやらで国民に外出する旅を勧めている動きは本末転倒。コロナ対策で使っている税金は私たちが払ったもの。財源が底をつけば国民にそのツケをまわす、何の工夫もないコロナ対策。誰でも考えるシナリオではこの難局を乗り切れるとは思えません。私が考える有効な対策は、やっぱり消費税を見直し、誰もがその利益をこうむることができるとることだと考えます。この国

が沈没してしまわないために、冷静に、科学的に、みなが納得できる方策を早急に考えなくてはと思うこの頃です。

〈今年の紅葉は〉

いつもこの時期に思うことは、全国や世界から来られる観光客の皆さんに最高の紅葉を観ていただけるかが気がかりなことです。せつかく遠くから来ていただいたのに、期待に応えら

れない紅葉では申し訳ない限りです。できれば、嵐山の全山紅葉、高雄の燃える様な赤を観ていただきたいと思うのです。朝夕の寒暖差が紅葉を鮮やかにするといわれています。そのようになりそうな気配ですが、残念ながら、今年は見ただけの方のお越しがかなわないようです。コロナの感染拡大は紅葉の観光も阻んでいます。同時に功を奏すやり方はないのでしょうか。インバウンドに頼らない経済活動を創造する役割があるのではないのでしょうか。京都はどの季節も素敵な情景を演出できます。

〈要望書を読んでください〉

「障害乳幼児の療育に応益負担をもちこませない会」の怒りの要望書を書かせています。

池添素（京障連事務局長）



「ふつうのくらし」を求めて XI

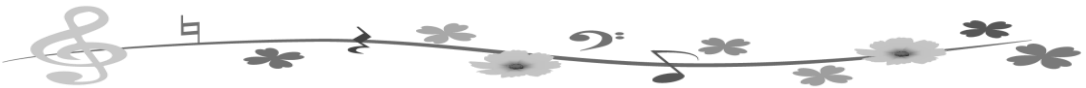
大西 里江

〈心細いスタートに〉

「府が一人学級を認めているのは、遠方で通うことができない児童なので一人学級を認めているのです」との返答。しかし、「私の家庭も下の娘が訪問教育で在宅しているのです、いつも一緒に連れてこないといけないのです。私が上の娘の送迎はできません。遠い学校に通うことになったら一人で登校できないのです」と話をすると、「通学の保障はします」との回答がきました。

年が明けて、六年生のお母さんたちが学級存続の署名に取り組んでくださり、たった二か月後の二月には、二百名以上の署名を集めてくださり、それをもって、今度は総務課の方と話し合いをもちました。それから何度も話し合いを重ねました。三月三十一日、この日は育成学級に通う娘の誕生日。この日の夕方に連絡があり、「残念ですが、学級は閉級します」と。

翌日、四月一日の新聞の掲載される教職員の移動欄を見てびっくり。下の娘がお世話になった担任の先生が、上の娘が通う学校に異動になったいたからです。その後連絡があつて、娘の登校には管理職、つまり校長か教頭が付き添う、下校は担任が付き添うことで決定しました。担任は下の娘の担任でもあつた先生で、上の娘もよく知ってい



る方でした。全く誰も知らない学校で、しらない管理職の先生とともに登校し、右も左もわからない中で唯一、よく知っている担任の先生がいてくれることは、当時の娘にとっては救いだったと思うし、心強かつたと思いました。

〈教育とは何？〉

「自分はどこに行くのか？」「なぜ前の学校ではないのか？」当時の娘の気持ちを思うと辛かったです。教育とは何なのか、誰のための教育なのか？京都市教育委員会が定めている規定が、本当に児童本来のためのものなのか？私の家庭のような家族の児童がいると知ってもらい、多様にちやんと対応してもらえたらと思ひ、後日、育成課に連絡をしました。

「一年ごとに転校する娘は人間です。気持ちのある人です。大人の事情で動かされたことが良かったのでしょうか？とても疑問です。教育というものがかこれでよかつたのか？少し考えてもらえたらと思ひています」と伝えました。

〈一人学級はあたりまえに〉

翌年も同じように一人学級の問題が起きて、平成八年度からは、育成一人学級が認められて、育成学級に通う児童も地域の小学校で、共に学ぶことができるようになり、本当に良かったと思ひます。

車いす視点から社会を斬る！

矢吹 文敏（日本自立生活センター）

【前号と同じ？】

（前号から一カ月）とにかくもアメリカ大統領の選挙結果が明確になり、バイデン氏が勝利宣言をした。

下はもちろん戦後しばらくは激しい「レッドパージ（赤狩り）」が行われたのだ。

この機に乗じて記すことにもなり、内容は前号とも重複するのだが、そもそも以前から不思議に思っていたことがある。

もし本当にアメリカ共和党のイメージカラーが赤であるならば、「あなた方の党は、いつの間にか赤になったのか」ということの矛盾を是非ともうかがいたいところなのだ。

それは、トランプ氏がバイデン氏を「（中国に片寄った）左翼（しかも極左とさえ言う）主義者」とのしつっているが、当のトランプ陣営のイメージカラーは「赤」。

さらに言えば、トランプ氏が「わめき散らすように、もしもバイデン氏が極左と結び付いているとするならば、近頃特に目立つ彼自身の挑発的な言動は、近年まれに見る極右的なものであり、それはさすがに共和党全体のものではないことを自覚しなければなるまい。

「……いずれにせよ、赤の始まりは、「万国の労働者は団結せよ」と掲げた、労働運動の象徴

ではなかったのか、と私は認識していたのだが。その象徴が、いつのまにか右翼でもなく左翼でもなく、独裁者が好む色になつてい

まず、これまでの歴史において、赤色は社会主義あるいは共産主義の象徴であり、かつてのソビエト（現ロシア）も、宿敵と名ざ

り、それはさすがに共和党全体

私（たち）があまりにも活動内容

「自分の後ろにはもつと強い奴

とものしつっているが、当のトランプ陣営のイメージカラーは「赤」。

「現政権に批判的かつ反動的だったから」と言うことが明らか

議」のことにしても、菅総理が六名の委員を任命しなかった理由

「私たちのことを私たち抜きで

だ。だからこそ我が国でも、戦時

り、それはもう、議論の余地がないほどの言論抑制であり、独裁者の始まりであり、民主主義崩壊の危機ではないのか。

「障害者よ！ 堂々と生きよ

う！ 平和のために！」

「障害者よ！ 堂々と生きよ

う！ 平和のために！」

う！ 平和のために！」

う！ 平和のために！」

学術会議問題に寄せて

政権の日本学術会議への介入問題は、学術会議が推薦した6人の任命拒否として表面化した。日本国憲法第二三条【学問の自由】では、「学問の自由は、これを保障する。」と高らかに言明している。この項は、アジア・太平洋戦争の痛苦の経験に基づいて書かれた。その痛苦の経験の最たるものに、2つの事件があった。「学問の自由」がなくなった時に、権力の暴走が始まった。

☆

末川博（1892年～1977）は、民法学者で、京都帝国大学教授を経て戦後、立命館大学学長・立命館総長を歴任した。立命館大学の構内には、「未来を信じ 未来に生きる」と刻まれた碑がある。1933年に京都帝国大学で発生した思想弾圧事件を、僕らは「滝川事件」（京大事件）と呼んでいる。35年の美濃部達吉の事件後（天皇機関説が右翼に問題にされ、美濃部は貴族院議員を追われた）の2つの事件を経て、日本の戦争政策は加速した。

京都帝国大学法学部の瀧川幸辰（ゆきとき）教授が、1932年10月中央大学法学部で行った講演「『復活』を通して見たるトルストイの刑法観」が、無政府主義的であるとして文部省および司法省内で問題にされた。1933年の「司法官赤化事件」をきっかけに、司法官赤化の元凶として帝国大学法学部の「赤化教授」の追放を主張、司法試験委員であった瀧川は非難された。33年、鳩山一郎文相は京大総長に瀧川の罷免を要求、文部省は瀧川の休職処分を強行した。末川を含む教官は、辞表を提出して抗議の意思を示した。辞表を出した教官6人（末川博ら）は免官になった。末川は「この事件は瀧川個人に加えられた弾圧ではなく、日本の学問の自由と大学自治に加えられた弾圧だったから京大事件と呼ぶべきだ」と言っている。

☆

政府による日本学術会議の6氏の任命拒否事件の1人は松宮孝明立命館大学教授だが、教授会や大学当局の声明と言った、大学からは抗議の意思が表明されていない。それどころか、フジテレビの平井文夫上席解説委員は同局の番組で、政府の任命拒否で注目されている日本学術会議に関して「6年ここで働いたらその後学士院というところに行って、年間250万円年金がもらえる」などというフェイク発言をしている（番組側は10月6日の放送で「誤った印象を与えるものになりました」などと訂正したが・・・）。この解説委員は、立命館大学経済学部の教授をこの4月から兼務している。嗚呼！！

（井上吉郎・本紙編集長）

力を尽くしたジョナさんの本人尋問！

弁護士・大江智子

令和2年10月28日(水)午後3時、京都地方裁判所にて、車椅子の特例補装具費の支給を求めるライスチョウ・ジョナ・シェンさんの本人尋問が行われました。

本人尋問は、どうしてもジョナさんご本人に回答してもらわなければならない、「如何にジョナさんの体力を消耗しすぎることなく、かつ裁判官に当方の主張の正当性を理解させるか」が最大の課題でした。そのため、主

平成28年3月16日にこの裁判を提起してから、4年と7ヶ月の月日が経過しました。この長い時間の間に、ジョナさんは、ご自身の生い立ちや使用する補装具の必要性、この裁判の意義を、マンガを描くことで分かりやすく世間に情報発信し続け、SNSで毎回裁判の日程を告知し、少しずつ傍聴してくださる方・裁判に協力してくださる方を増やしてられました。我々弁護士も、ジョナさんや専門家の方々の助けを借り、専門知識

尋問時間は、どうしてもジョナさんご本人に回答してもらわなければならない、「如何にジョナさんの体力を消耗しすぎることなく、かつ裁判官に当方の主張の正当性を理解させるか」が最大の課題でした。そのため、主

弁護士としても、いろいろ工夫を凝らした尋問ではありましたが、実は映像で昇降機能の必要性を訴えたいと提案し、カメラマンの手配から撮影までを全て取り計らってくださったのはジョナさんとジョナさんのお母さんであり、さらにジョナさんは全ての弁護士会議に出席し、陳述書や尋問事項と一緒に作り上げ、体調を崩してしまっただけの長時間の尋問練習にも耐えてくださいました。このような当事者の行動力と努力がなければ、本人尋問を成し遂げることはできなかったと心から思います。

私たちは、主尋問の最後に、印象的な質問をあえてしました。代理人「今、証言台の前で話をしているのは、昇降機能を使っていますか。」「はい。」

裁判官が見慣れているこの尋問の場でも、ジョナさんが昇降機能を使っていることを、そうしなければ裁判官と対話ができないこ

とを、裁判官が記憶に留めてくれることを期待したいです。

最後になりましたが、この当事者尋問に向けて映像を撮影してくださいましたカメラマンの木内さん、専門的知見から助言をいただいた技術者の西村さんほかご協力いただきました皆様と、傍聴等を通じて尋問をご支援くださいました皆様に、この場をお借りして御礼申し上げます。

12月14日15:00、京都地方裁判所にて最後の期日が開かれま

以上



2+2=詩

「浮かぶように」

夕焼け色に染まった街を

涼しくて少し肌寒い風が吹いている

見上げた空は薄紅色と青空が入り混じっている

青く残った空にぽかりと浮かび上がるように

白い白い、少し欠けた月が居座っていた

白い白い月に浮かんでいる

黒い模様をじっと見つめる

じわじわと湧いてくる不思議な感覚

確かにいるのにどこか現実味のない風景

つぎの瞬間どことも知れない異世界に

立っているかもしれない

布団の中で目が覚めるかもしれない

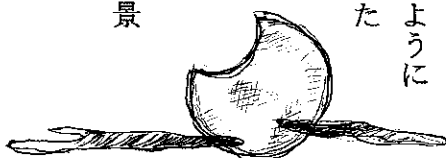
ふわふわと体から離れた僕のこころは

そうして浮いたまま動き出して

繋がったままの僕の間からでも引つ張られて歩き出す

そうして家に帰りついて月も空も見えなくなるまで

僕はふわふわと浮いていた



「砂」

物心ついた時には

僕の体は砂の中に埋められていたのだ

悪意や無知や無理解や

そんな名前の砂を寄つてたかつてかけられて

歩くことすらままならない

指を動かすだけで一苦労

なんにもないなんにもない

なんにもできない一面の砂の中にぽつんと一人佇んで

そうしていつか朽ち果てて僕も砂の一部になる

「あか、あお、きいろ」

いったい何があるかしら

あか、あお、きいろ。あか、あお、きいろ

ちかちか光る信号機

あか、あお、きいろ。あか、あお、きいろ

トマトとキャベツと炒り卵

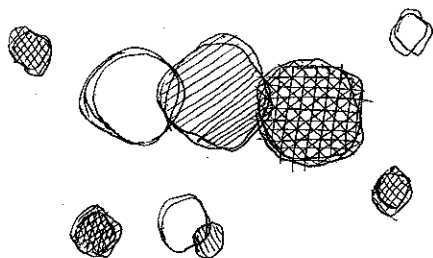
あか、あお、きいろ。あか、あお、きいろ

並んだ小鬼のとぼけ顔

あか、あお、きいろ。あか、あお、きいろ

ほかになにがあるかしら

ほかになにがあるかしら



作・赤富士文兼 挿絵・水口萌恵

つれづれあらぐさ

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

場面① 家庭訪問で、日常を知る

「時間があれば、中山さんと話したいです」とご家族からの連絡が入り、自宅に伺った時のこと。リビングに入ると、木目調ローテーブルの上にいるいろいろなものが置かれているのが目に入りました。並べてあるというか、重ねてあるというか、「山」のように重なっています。

近づいてみると、その山はフォークにスプーンとカミソリ、メガホン、複数のハブラシ、チラシの束、茶碗、服・タオル等々で構成されていました。全てが一緒くたでなく、でもきっちり分かれているわけでなく、なんとなくまとまっている絶妙な配置です。そして、ローテーブルのほぼ中央には「せんとくん」のぬいぐるみ。布団代わりのようなタオルの上

で、まるでこの山の主です。

昨年、それまで安定していると思っていた彼の調子が崩れました。時間や曜日感覚が薄れ、生活場面で出来ていたであろうことが不確かになりました。一晩中、家の中を行ったり来たりして、ものを出し入れするように…音が響いて眠れないと、ご家族は下駄箱や食器棚に防音用クッションやテープを取り付けました。

元々CDやチラシのコレクターだった彼ですが、家中の調理用タッパ容器を集めた時期や、冷蔵庫のスライスチーズを持って行くことと譲らないこともありました。ローテーブルの山はその名残りで、集めて持ち出したものがディスプレイされています。

自宅以外の場所ではそれほど変わりがないのに、自宅ではありとあらゆる出来事が起こりました。ご家族からのSOSで駆けつけたり、一緒に通院したり、原付で探し回ったり…常に目が離せない大変な状況の

中、「障害者の親は、もう飽きた」とご家族が口にされたのは、この時期です。



調子の波はあるものの徐々に状態が落ち着き、最近の彼は自分の意思を明確に示しています。朝から機嫌よく、「なーらけんこーらーんど」と大きな声で口ずさんでいる姿も見られます。「今まで真面目やったから、言われた通りにするのが嫌になったんかな」と振り返るご家族。ローテーブルに落ち着いている「せんとくん」は、何度かのゴミ箱行きを経験しての現在です。それぞれの思いを抱えながら、日常を過ごしています。

中山 恵美子（あらぐさ福祉会）

背中を伸ばしてひびくひびく一緒に歩む

すぎな (訪問看護師)

69 鬼退治

最近、鬼滅の刃というアニメが、世間でもはやされている。お菓子や缶コーヒーなど、たくさん商品とコラボレーションしているため、コンビニに行っても、本屋さんに行っても、いろんな場面でアニメのキャラクターがかかれた品物を見ない日はない。映画もたくさん人が観に行っているらしい。私はテレビや映画はあまり見ないが、マンガ好きなので原作を一通り読んでストーリーは把握している。だから「観たよ。」という人と、何となく話を合わせることもできる。しかし今度は、観ていない人をまるではみ出し者のように扱う『キメハラ』というものまであるという。このアニメのストーリーは、主人公の兄

妹が鬼と闘う鬼退治物語なのだが、そんな風にみんなと一緒にないと変わり者扱いを受けるようでは、現実の人間社会の方が怖い鬼だらけに思えてくる。

新型コロナウイルス感染症の問題でも、感染者の関係者を拒絶したりネットで叩いたりする様が報道され、人の心の狭さ醜さを浮き彫りにした。そこまではなくても、日本人は複数の人が集まって集団になると、皆

感じ取る想像力がそこにはないように思う。それとも、解ついても集団から外されたくなくて、みんなと同じ行動を取ろうとするのか。

私が小学校高学年だった時、クラスの中で誰か一人を無視す

るということが流行った。理由は何でも良かった。「給食を食べるのが遅い」「国語の時間に手を挙げて発言しなかった」外されるのが嫌な者はみんなと同じものをもち、同じ行動をした。私はそれができず、いつも外されていた。次第に私としゃべったというだけで、他の子が無視の対象となった。

右か左か、上か下かではなく、人と人の間に緩やかな線引きをもって中間も斜めもあつて良いという関わり方ができたら良いのと思う。緩やかでも目標を共有する人同士は、お互いの目標達成のためしっかりと結びつくことは可能だと思ふのだが。そのためにも想像力に基づいた思いやりは必要。

と、何となく話を合わせることもできる。しかし今度は、観ていない人をまるではみ出し者のように扱う『キメハラ』というものまであるという。このアニメのストーリーは、主人公の兄

を皆でやってしまうことになり



「線引き鬼」と「想像力欠如鬼」現在の世の中には他にもたくさん鬼がいるかもしれない。

365歩のマーチ



8 子どもを通して自分も知る

その感情は突然襲ってきました。しかも、その後ことあるごとに何度も何度も。それは懐かしさ、でもとても居心地の悪いものでした。

久しぶりにそのもやもやを感じたのはおもちや屋さんでゆいちくんの誕生日プレゼントを選んであげた時のこと。「これも買ってあげよう、あれも買ってあげよう」といろいろ選んでいる母の様子を見て私は密かにぞくぞく。(なんだらう、この感覚は)。もやもやとしている私を尻目に「これはもう楽しめるかな？」と楽しそうなお母。なんとなく居心地の悪い感覚、それは親が子どものためにになにかしようとしているのに対して、でした。考えてみれば

日々はんを作ったり保育園の送迎をしたりお風呂に入ったり：「子どものために」であふれた生活をしているのですが、「子どもの誕生日プレゼントを買う」という行為を通して自分の育ちのなかでの宿題を意識させられました。そういえば…

中学生の時に学校に行きづらくなつた時に「〇〇がほしい」と言ったらなんでも買って来て、(これ以上迷惑をかけられない)と思つて立ち直つていったこと。

そんなことがあつたからか人生で一番きらいなことは、親が財布を開いている場面を見ること…。

高校生の頃だつたでしょうか。親に連れて行つてもらつた回転ずしで、(食べれば食べるほどお金がかかる)と思つてしまつたと皿に

手を出すことができずに、「食べろ食べろ」と言われた結果一皿しか食べられなかったこと。数年前、社会福祉法人みぬま福祉会総合施設長の松本哲さんが講演でご自身も「親の慈愛に満ちた目がいやだつたんです」と話されたことにものすごく共感したこと…。いろんなことを一気に思い起こしました。

表現しているゆいちくん。親はそんな姿に「もー！」となりながらも小さな成長をよるこび、できることはやってあげたい、と思うのだということ自身をもつて知る今日この頃。誰にも付度することなく、いっぱい甘えてたくさん「わがまま」を言つてほしいと思います。

*

愛情深くあたたかく育てられたにも関わらず、「親に甘える」といったことがうまくできないまま大人になつたのでは。わが子の誕生日プレゼントを選んでいる母を見て、そんなことを思いました。

親の立場になつてみると、ゆいちくんに自分たちに対してそんな思いをもたれると「何を遠慮しているんだ」と思います。私の父親にも「子どもが親に遠慮するものじゃない」とよく言われたものです。なにか誘いかけると「いやいや」と言つて首を横に振り、もてる力をフル動員して自分の思いを

今もまだ親にものを買ってもらつたり何かしてもらつたりすることに對して気が引けます。ただ、「ゆいちくんにプールを買つたよ」「ふとんを買つてあげたよ」と私の親の愛情の行き先はゆいちくんに変わりまわつた。(ゆいちくんが買ってもらうているのも気が引けるけど…私が遠慮することもないもんな)。

ゆいちくんを通して親に甘えるという自分の宿題に向き合っています。

安藤 史郎 (あかつきひばり園)

知っ得情報

介護（福祉）タクシー（中） 松本 美津男

前回に続き今回は京都市内4区の事業所を紹介いたします。

〈山科区〉

福祉有償運送「京都ラクシヨナー」 591-8821 岡村介護タクシー 502-3451
介護タクシーつどいネットワーク 0800-919-2101
とわ介護タクシー 0800-919-2101 介護タクシーハッコロ 204-0392

〈右京区〉

京都市介護タクシー 0120-788-373 介護タクシーハ・ハ・ハ あ 384-1383
介護タクシーリブラ 925-5500 京都すみれの会 872-0123
ピッコロケアポート 555-1232
ヘルパーステーションれっつ介護タクシー 321-5119

〈西京区〉

福祉タクシーおおしま 393-0528 a n介護タクシー 090-3490-5925
介護タクシーかつら 090-3718-1715 いざみ介護タクシー 958-1289
谷口福祉タクシー 090-2046-6019

〈伏見区〉

ニチアイ介護タクシー 644-7449 介護タクシーまるわん 0120-966-855
介護タクシーはな 643-2537 未来介護タクシー 632-9580
介護タクシーきむら 935-0759 ヒューネット介護タクシー 643-7239
株式会社ジャストライフ（ねこのてグループ） 645-8210
介護タクシーなみかわ 643-5750 介護タクシーてくにか 935-3090
介護タクシースマイル&スマイル 574-7227
ケアタクシー和輪（かりん） 090-8468-3451

あなたもぜひ 仲間に



サロン・サークル・地域活動展開中
生活支援スタッフ（資格不要）募集中
介護職員（資格要）募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります（随時）



あなたも支える存在に

京都市北区紫野東野町1-5
電話075-432-3636

命の平等をかけた、 無差別平等の医療と 福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: info@kyoto-min-iren.org

ありがとうございます

年会費 田村ゆかり・一谷孝・松村よし子

分担金 保健福祉の会

ちひろカレンダー販売 50部 (敬称略・2020/11/10)

<資料>

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課障害児・発達障害者支援室あて 障害乳幼児の療育に応益負担を持ち込ませない会代表 白石正久

児童発達支援利用児への指標該当児判定導入をやめてください

10月5日の第16回障害福祉サービス等報酬改定検討チーム「資料3」によれば、障害児通所支援の報酬において「児童の特性に応じた加算の創設」を論点とするとあります。具体的には「ケアニーズの高い障害児」への支援を充実することをねらいとして、そうした支援を行った場合には報酬上の評価を行う制度を検討するとして、「ケアニーズ」の判定において、「指標該当児判定」を導入する方向性が打ち出されています。

「指標該当児判定」は2018年度報酬改定において放課後等デイサービスにおいて導入されたものですが、この3年間の経験もふりかえると、少なくとも、以下のような問題があると考えます。

- ① 「行動」の特徴に偏った項目では児童発達支援を必要とする子どもの「支援の必要度」は把握できません。児童発達支援の現場では、発達の状況に応じたニーズを把握するために発達検査も用いながら、また保護者との話し合いを重ねて、遊びをふくめた子どもの活動全体から「支援の必要度」を見定めていきます。
- ② 放課後デイの場合、調査にあたってこの項目での保護者聞き取りが行われました。聞きとられた保護者も回答に窮する内容であること、子どもの尊厳を傷つけるものであるとの指摘が相次ぎました。
- ③ 子どもは発達途上にあります。「支援の必要度」が低くなることは成長の証ですが、その結果が事業所の加算を減じることにつながるしくみは、事業にゆがみをもたらします。
- ④ 判定を担う自治体職員の課題も存在します。放課後等デイサービスでの実施にあたって、もともと「行動」の評価は主観によるものである上に、保護者の聞きとり、保護者自身による用紙上のチェック、事業所での子どもの観察など、自治体ごとに調査方法のバラツキは著しいものでした。これらが改善される見込みはありません。また障害に関する基礎的知識をもつ職員は想定できません。

さまざまな問題点は、「指標該当児判定」自体から生じているのです。したがって、「判定のバラツキを防ぐため」の「留意事項」をもってしても解決しえないでしょう。

次期報酬改定において、児童発達支援の現場に「指標該当児判定」のしくみを導入しないでください。